

受賞者プロフィール (RIDER of the YEAR)



■ SURFER of the YEAR(MAN)

辻 裕次郎 (つじ ゆうじろう)

生年月日：1985年5月14日

出身地：徳島県

1996年、11歳でサーフィンを始め、2002年、若干16歳でプロサーファーの資格を得る。その後、プロジュニアを卒業し、2007年からJPSA (日本プロサーフィン連盟)国内ツアーを中心にASP・WQS世界ツアーに参戦。2008年JPSAツアーで初優勝し、その後も国内ツアー世界ツアーを休みなく駆け巡り、活躍を見せる。2014年には、JPSAグランドチャンピオンを獲得。王座獲得後に徳島県知事から表彰され、サーフィンをアピールすることに貢献した。



■ SURFER of the YEAR(WOMAN)

前田 マヒナ (まえだ まひな)

生年月日：1998年2月15日

出身地：ハワイ ノースショア

純日本人でありながらハワイで生まれ育ったガールズサーファー。両親がサーフィンのためにハワイ (ノースショア) に移住したことから、その環境の下で、サーフィンを幼い頃から始める。2014年シーズンは、ASP Swatch Girls Pro France 2014で2位、ポルトガルで開催されたWJC (ワールドプロジュニア) では見事ワールドチャンプに輝いた。近々、トップツアー入りも現実味を帯びてきている。また、世界的なビッグウェイブスポットとして知られるポルトガルのナザレで20ft近いモンスター級の巨大波をメイクしたXXL Big Wave Awardの映像は衝撃を与えた。



■ SKATER of the YEAR(MAN)

堀米 雄斗 (ほりごめ ゆうと)

生年月日：1998年1月17日

出身地：東京都

ストリートからミニランプ、バーチカルまでオールマイティーに活躍する次世代を担う天才スケートボードライダー。2005年からスケートボードを始め、その後、数々の国内の大会に参戦。また、2012年 Vert Attack 6 ジュニアクラス優勝、2013 KIA WORLD EXTREME GAMES 10位、そして2014年には TAMPA AMで14位と、国外の大会でも活躍を見せる。今、最も注目の1人。

受賞者プロフィール (RIDER of the YEAR)

■ SKATER of the YEAR(WOMAN)

中村 貴咲 (なかむら きさ)

生年月日：2000年5月22日

出身地：兵庫県



6歳の頃に、スケートボードをはじめ、8歳で初参戦した大会VERTMEETING バーチカル種目において大人も混じった中で初優勝を果たす。さらに、2011年にAJSA全日本レディース選手権 パーク種目優勝を果たすと、翌年もAJSA全日本レディース選手権 パーク種目において優勝し連覇する。2014年アメリカで開催された「Girls Combi Pool Classic Amateurs 14 & under(USA)」に参戦し、世界大会への初出場を遂げる。初の世界大会で準優勝し、日本人女子として初の偉業を成し遂げた。この準優勝をきっかけに、世界最高峰の「Van Doren Invitational Women's Bowl Contest (US OPEN)2014」からインビテーションされ6位入賞。さらに翌週に開催されたアメリカプロ戦「16th Annual Tim Brauch Memorial Skate Contest women's pro class (USA)」で優勝し、世界に「Kisa Nakamura」の名が知れ渡ることになった。

■ SNOWBOARDER of the YEAR(MAN)

國母 和宏 (こくぼ かずひろ)

生年月日：1988年8月16日

出身地：北海道



4歳でスノーボードを始め、若干11歳でプロ資格を取得。14歳の時にUS OPENで日本人初なる2位入賞を獲得する。その後FIS WORLD CUPや国際大会で数々の優勝を飾り、トリノ、バンクーバー五輪日本代表として活躍した。その後2010,11年と2年連続でUS OPEN優勝。シーズンはアメリカに滞在し、撮影や大会等に出場中。2014シーズン、1年間に世界で10誌以上、スノーボード専門誌の表紙を飾り、また、世界に発信されているCAPITAのチームムービーでトリをつとめるなど、海外メディアでの露出、活躍が目立った。

■ SNOWBOARDER of the YEAR(WOMAN)

鬼塚 雅 (おにつか みやび)

生年月日：1998年10月12日

出身地：熊本県



5歳でスノーボードを始め、8歳でバートンとスポンサー契約を結ぶ。スロープスタイル競技に本格的に参戦するまでは、レールなどの人口造作物を使った「ジブ」と呼ばれるカテゴリーで頭角を表し、日本最強のガールズジバーと呼ばれていた。2013年にスイスで行われたO'Neill Evolution 2013 女子ビッグエアーで優勝するなど、ソチ五輪への出場も期待されたが、選考大会となったワールドカップの成績が振るわずに日本代表入りはならなかった。2015シーズンは、2014年9月のBURTON HIGH FIVESで2位、1月の世界選手権で大会史上最年少記録となる16歳3ヶ月で日本人女子初優勝という快挙を成し遂げている。

受賞者プロフィール

■ SPECIAL AWARD

雪マジ! 19 ~SNOW MAGIC~

(株) リクルートライフスタイル ジャらんリサーチセンター



スノーアクティビティを楽しむ人々を増やし、中長期的にスノーアクティビティ市場と、冬季の山間地域を活性化することを目的に2011年11月7日にスタートしたプロジェクト。スノーアクティビティ市場の活性化のためには、高校卒業後のはじめて訪れる冬に、同年代の友達同士、自らの意志で若者にスキー場へ足を運んでもらい、スノーアクティビティの楽しさを体験してもらうことが必要だと考え、19歳の方が会員になることでリフト券が無料になる等のサービスを提供。3季目の2013-14シーズンは昨シーズン対比約1.3倍となる全国172のスキー場が参加し、約15万人の19歳が雪マジ! 19に会員登録した。今シーズン（2014-15）は、全国181のスキー場が参加している。